

資料4 2021年度の主な取組み

新型コロナウイルス感染症の拡大により多大な影響を受けている大阪の賑わいを取り戻し、来るべき大阪・関西万博を見据えた都市魅力の創造・発信や受入環境整備を図るため、大阪都市魅力創造戦略2025に基づく重点取組みをはじめとした各種施策・事業を推進。

■ 世界第一級の文化・観光拠点の進化・発信

- 2025年日本国際博覧会推進事業
- 大阪市内の重点エリアの魅力向上
- 百舌鳥・古市古墳群世界遺産保存活用事業
- IRの推進
- 大阪・光の饗宴
- 万博記念公園の魅力向上
- 水都大阪

■ 大阪の強みを生かした魅力創出・発信

- 大阪の食の魅力の発信
- 観光魅力向上のための
歴史・文化的まちなみ創出事業
- 国内外の人々を惹きつけるキラーコンテンツの創出
- 広域ベイエリアまちづくりの推進

■ さらなる観光誘客に向けた取組み

- テーマ型魅力コンテンツの開発
- おおさか観光消費喚起事業
- 大阪府宿泊事業者
感染症拡大防止対策等支援事業

■ 戦略的なMICE誘致の推進

- 観光政策調査研究事業
- MICE推進に向けた取組み

■ 文化・芸術を通じた都市ブランドの形成

- 大阪らしい芸術文化の魅力の創出
- 大阪文化芸術創出事業
- 美術館・博物館の魅力向上

■ スポーツツーリズムの推進

- スポーツツーリズムモデル事業
- 大阪マラソン開催事業
- 舞洲スポーツ振興事業
- 大阪スポーツプロジェクト推進事業
- 国際競技大会、イベント等の誘致・開催
- スポーツ情報発信事業

■ 大阪の成長・発展につながる

国内外の高度人材の活躍推進

- 高校生等海外進学支援事業
- 実践的英語体験活動推進事業
- 外国人受入環境整備事業
- 外国人留学生就職支援事業

※詳細は、「(別添) 取組み概要」資料を参照

別添) 取組み概要

■ 世界第一級の文化・観光拠点の進化・発信

2025年日本国際博覧会推進事業

目的

2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）の成功に向け、引き続き開催準備を進める。

概要

- 会場整備・交通アクセスにおいて、円滑な開催に向け、引き続き国や関係機関と調整を行う。
- 本年開催のドバイ万博における「ジャパンデー」において、大阪の魅力を発信するとともに大阪・関西万博のPRを展開する。
- 万博開催自治体として地元パビリオン出展の実現に向け、「出展基本計画」の策定を進める。
- 「万博の桜」への呼びかけや、ピンバッジやポスター等PRツールを配布し、機運醸成を図る。

大阪市内の重点エリアの魅力向上

目的

都市の魅力向上にむけて、大阪市内の重点エリアを整備する。

概要

- ①大阪城・大手前・森之宮地区
⇒2015年度に導入した大阪城公園PMO事業を推進し、民間活力を活用した公園の新たな魅力を創出する。また、大阪城東部地区では、大阪公立大学(仮称)の1期キャンパスの整備に必要な都市計画手続きを進めるとともに、大学を先導役としたまちづくりの実現に向けた検討を行う。
- ②中之島地区
⇒令和2年7月に中之島こども本の森を開館したところであるが、さらなる中之島地区の魅力向上を目指し、令和4年2月の「大阪中之島美術館」開館に向けた準備を行う。
- ③天王寺・阿倍野地区
⇒大阪市立美術館や天王寺公園・動物園の魅力向上により地区全体の集客力・ブランド力の向上を図る。大阪市立美術館については、機能向上と集客力向上のため大規模改修を実施し、令和6年度中にリニューアルオープンする。

百舌鳥・古市古墳群世界遺産保存活用事業

目的

世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」について、「世界遺産条約」に基づく義務を果たすため、資産の保護保存・活用の取組みや資産の価値と魅力を発信する取組みを、大阪府、堺市、羽曳野市、藤井寺市が一体となり進める。

概要

4自治体で構成する百舌鳥・古市古墳群世界遺産保存活用会議にて、遺産影響評価の実施にかかる国やユネスコ等との協議調整を行うほか、高精細PR映像の制作・配信を通じて国内外に向けた情報発信を行う。

IRの推進

目的

大阪・夢洲へのIR誘致実現をめざして、取組みを進める。

概要

- IR整備法や国の基本方針等を踏まえて策定した実施方針に基づき、事業者の公募・選定を行い、事業者決定後、区域整備計画を作成のうえ、国に区域認定申請を行う。

大阪・光の饗宴

目的

国内外に誇れる自慢の都市の実現に向け、大阪の夜を楽しむことができる観光コンテンツの充実を図り、国内外からの観光客の満足度を高め、さらなる呼び込みを図る。

概要

「御堂筋イルミネーション」・「OSAKA光のルネサンス」、地域団体等が展開するエリアプログラムが一体となった大阪・光の饗宴を開催する。

別添) 取組み概要

■ 世界第一級の文化・観光拠点の進化・発信

万博記念公園の魅力向上

目的

国内外の多くの人にスポーツや文化のコンテンツを楽しみ、感動を与えられる場を提供する。

概要

大規模アリーナを中核とした大阪・関西を代表する新たなスポーツ・文化の拠点づくりを推進するため、令和3年5月に事業予定者を決定した。令和7年の開業を目指し、今後は、関係部局と連携し、事業予定者と協議の上、事業を進めていく。また、万博記念公園を取り巻く状況が大きく変化していることを踏まえ、万博のレガシーを次世代に継承していくとともに、公園の更なる活性化を図るため、新たな将来ビジョンの策定に着手する。

水都大阪

目的

水辺・水上の魅力創出・にぎわいづくりを推進する。

概要

「水と光の首都大阪」の実現をめざした取組みを、府・市・経済界等による公民一体型の組織である「水都大阪コンソーシアム」において、引き続き推進する。また、水辺の魅力景観づくりや舟運活性化に向けた環境整備、遊歩道等の緑化など水辺の回遊性の向上などを推進する。今年度については、来年度供用開始予定の大阪城エリアにおける公共船着場の工事を進めるほか、川と海の結節点や観光名所への誘客拠点として中之島GATEターミナル(サウスピア)の整備に向けた測量及びサウンディング型市場調査を実施する。

別添) 取組み概要

■ 大阪の強みを生かした魅力創出・発信

大阪の食の魅力の発信

目的

大阪の強みである「食」のコンテンツの磨き上げや発信などを行い、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた大阪の賑わいを取り戻す。

概要

- ①「食のブランディングに向けた取組み」
⇒魅力ある「食」コンテンツの掘り起こしや発信など、食に関する事業を通じて、大阪の「食」ブランディングに向けた取組みを推進する。
- ②「大阪産（もん）グローバルブランド化促進事業」
⇒大阪産（もん）・大阪産（もん）名品等のPR・販路拡大を促進し、大阪の一次産品や加工食品などの「大阪の食」の魅力発信する。
- ③「大阪の食の魅力発信」
⇒大阪の食の魅力を活用した新たな大阪ならではの観光コンテンツを開発するなどし、大阪の強みである「食」の魅力発信する。

国内外の人々を惹きつけるキラコンテンツの創出 （御堂筋オータムパーティー）

目的

国内外の人々を惹きつけるキラコンテンツを実施し、大阪の魅力を強力に発信することで、多くの方々を大阪に誘客する起爆剤とする。

概要

大阪のメインストリートである御堂筋において、非日常的なキラコンテンツを実施し、一層の話題性を集めることで、大阪の魅力を全国及び海外へ広く発信するプロモーションイベントを開催する。令和3年度においては、2025年大阪・関西万博の機運醸成に向け、万博のプロモーション事業と連携して実施する。

観光魅力向上のための歴史・文化的まちなみ創出事業

目的

大阪の強みである「歴史・文化」等のコンテンツの磨き上げや発信などを行い、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた大阪の賑わいを取り戻す。

概要

船場地区において、歴史的・文化的な建築資源周辺の無電柱化や周辺景観と調和した道路整備を実施するとともに、回遊性向上の取組み等を実施する。

広域ベイエリアまちづくりの推進

目的

広域ベイエリアの活性化とさらなる大阪・関西の発展につなげる。

概要

大阪広域ベイエリアの将来像や様々な主体の取組みの基本的な方向性等について、「大阪広域ベイエリアまちづくりビジョン（案）」をとりまとめ、その重点的な取組みとして、海上交通の活性化、広域サイクル連携及び堺旧港周辺まちづくり等の取組みを推進する。

別添) 取組み概要

■さらなる観光誘客に向けた取組み

テーマ型魅力コンテンツの開発

目的

大阪が誇る歴史文化など再度注目して魅力掘り起こしを行い、テーマ型コンテンツとして広く発信することで、大阪市内のみならず府内各地域への回遊を促進させる。

概要

新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を踏まえつつ、近隣府県からの誘客を図るとともに、歴史、文化芸術、スポーツなどのテーマごとにコンテンツの開発を行う。

大阪府宿泊事業者感染症拡大防止対策支援事業

目的

緊急事態宣言の発出により、人流が減少し、経済活動への影響が全国的に生じることを踏まえ、その影響を受ける宿泊事業者への支援を行う。

概要

府内の宿泊施設における新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策やワーケーション等の新たな需要に対応するための取組みについて支援する。

おおさか観光消費喚起事業

目的

新型コロナウイルス感染症の影響により大きな打撃を受け、未だ厳しい経営状況が続く観光関連産業を継続的支援する。

概要

府内に宿泊する旅行者や、府内旅行業者が造成した対象ツアーを利用した府民に対し、大阪独自のクーポンを配布するキャンペーンを大阪府・大阪市共同で実施する。

(参考)

買い物応援キャンペーン事業

目的

新型コロナウイルス感染拡大防止のための飲食店への時短営業要請等により、飲食店以外の事業者の経営も大きな影響を受けているため、キャッシュレス決済を活用したポイント付与を通じた需要喚起により、市内の小売店舗等を支援する。

概要

市内の小売店舗等（飲食・宿泊等除く）において、商品・サービス等をキャッシュレス決済により購入・利用した方に、利用額の20%分のポイントを付与（1つのキャッシュレス決済につき、利用者一人当たり上限3,000円）

■戦略的なMICE誘致の推進

観光政策調査研究事業

目的

大阪がさらなる発展を遂げていくため、MICE等の国際イベント誘致による大阪のさらなる観光魅力向上に資するデータの収集を目的とした調査・研究を行う。

概要

MICE等の国際イベント誘致による大阪のさらなる観光魅力の向上に資する多角的な観点からの調査研究を行うとともに、有識者の意見を踏まえつつ戦略を策定する。

MICE推進に向けた取組み

目的

大阪がさらなる発展を遂げていくため、MICE等の国際イベント誘致を行う。

概要

府・市・観光局・経済三団体が構成している大阪MICE推進委員会において、大阪に強みのある分野をターゲットにした誘致や、各MICE施設の連携を推進するなど戦略的な誘致に取り組んでいる。なお、コロナ禍での開催支援として、インテックス大阪施設基本使用料の半額免除による主催者等の負担軽減や、感染防止策を講じながら開催する展示会等の支援などを実施している。併せて、他都市でのMICE施設の機能強化の動向等をふまえ、既存MICE施設の機能強化など、大阪におけるMICE受け入れ体制の充実にに向けた検討を進めている。

別添) 取組み概要

■ 文化・芸術を通じた都市ブランドの形成

大阪らしい芸術文化の魅力の創出

目的

大阪の強みである「文化・芸術」のコンテンツの磨き上げや発信などを行い、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた大阪の賑わいを取り戻す。

概要

国が主導する文化プログラムの動きを踏まえた取組みとして、大阪の文化資源である伝統芸能を観光資源として活用するためのコンテンツ創造、並びに地域の魅力を発信する事業を実施する。

美術館・博物館の魅力向上

目的

『大阪市ミュージアムビジョン』に掲げる、①大阪の知を拓く、②大阪を元気にする、③学びと活動の拠点へを目標に、「都市のコアとしてのミュージアム」の実現に向け、都市魅力の向上と新たな文化・人材の創出に貢献する。

概要

- 所蔵作品の計画的な修復や展示環境の改善・魅力的な展示の実現を行う。
- マスメディア等と連携した特別展及び企画展の誘致。

大阪文化芸術創出事業

目的

新型コロナウイルスの感染拡大により、甚大な影響を受けているアーティストや演芸人、楽団など文化芸術に携わる方々を、大阪府市が連携して支援し、公演機会の創出に取り組むとともに、府民・市民の鑑賞機会の提供や大阪の文化魅力の発信に取り組む。

概要

- 文化を核とした大阪の都市魅力の創造・発信のため、万博記念公園をはじめ府内各地で大阪が誇る上方伝統芸能や音楽、演劇、アート等のプログラムを展開する。
- また、文化芸術活動の回復に取り組むため、府内のホール等において、様々なジャンルのプログラムを展開し、大阪ゆかりのアーティスト・演芸人や劇団・楽団等の公演・活動の場を創出するとともに、府民・市民に文化芸術に触れる機会を提供する。
- さらに、府内の施設を利用して有料の舞台公演や作品展示を行う個人又は団体に対し、施設使用料を補助する。

別添) 取組み概要

■ スポーツツーリズムの推進

スポーツツーリズムモデル事業

目的

在阪スポーツチームやスポーツ施設などのスポーツや観光等魅力ある大阪の地域資源を活用し、地域活性化を図るため、スポーツツーリズムの推進に取り組む。

概要

健康づくりや地域の魅力の創出につながるサイクルツーリズム等のスポーツツーリズムの基盤を形成するため、プロスポーツチーム・府内自治体・関係団体等と連携し、チームの誘客にも寄与する取組みとして、モデル事業（シェアサイクルを活用してスポーツ・観光資源を巡るモデルコースの作成、動画による情報発信等）を実施する。

大阪スポーツプロジェクト推進事業

目的

スポーツや観光等魅力ある大阪の地域資源を活用し、地域活性化を図るため、スポーツツーリズムの推進に取り組む。

概要

大阪が有するスポーツ資源等を活用して、スポーツツーリズムを推進するとともに、生涯スポーツの一層の振興を図るため、在阪のスポーツチーム等と連携し、スポーツコミッション

(※)を設立する。

(※) 行政、スポーツチーム、関係団体が一体となって、スポーツツーリズムの推進、スポーツ関連イベントの開催や広報プロモーションなどを行う組織

大阪マラソン開催事業

目的

2万人のランナーが、大阪の誇る名所をかけぬけるスポーツの一大イベントである大阪マラソンを開催することで、ランナーだけではなく、多くの府民の方々にも楽しんでいただける大阪挙げての「お祭り」を演出することにより、大阪の元気や都市魅力を国内外に大きく発信していく。

概要

今年度においては、令和4年2月27日に開催予定。さらなる魅力づくりに取り組むとともに、大会の国際化を推進することにより、世界トップレベルの市民マラソンをめざす。

国際競技大会、イベント等の誘致・開催

目的

大阪のブランド力を活用して国際競技大会などを誘致し、トップアスリートの競技を直接観戦し、スポーツの感動や興奮を体験できる機会を提供するとともに大阪の都市魅力を発信し、内外からの集客を行い一層のにぎわい創出を図る。

概要

令和3年度においては以下のような大会を開催予定。

○大阪市長杯世界スーパージュニアテニス選手権大会

○大阪城トライアスロン

舞洲スポーツ振興事業

目的

市民スポーツの振興に繋げる。

概要

大阪市と舞洲を拠点に活動するプロスポーツチームが中心となり、情報発信、イベント、人材育成等のスポーツ振興事業を実施する。

スポーツ情報発信事業

目的

大阪を訪れる国内外の観光客に対し、試合情報やスポーツ体験等のスポーツ情報を広く発信することでスポーツツーリズムにつなげる。

概要

大阪を訪れる国内外の観光客に対し、HPやSNS、メディア等で試合情報やスポーツ体験等の情報を広く発信する。

別添) 取組み概要

■ 大阪の成長・発展につながる国内外の高度人材の活躍推進

高校生等海外進学支援事業

目的

大阪が国際競争に勝ち抜くために必要なトップレベルの「グローバル人材」を育成する。

概要

海外の大学で学位取得をめざす府内の高校生を対象に、「おおさかグローバル塾（通称）」を実施し、高度なコミュニケーション能力などを身に付ける講座や、夏休み期間にはイギリスのリーズ大学に短期留学を行うなど、総合的な海外進学支援を実施する。

今年度は、夏季の短期留学を見送ったものの、代替として海外大学等とのオンラインを活用したプログラムを実施する。

外国人受入環境整備事業

目的

外国人が安心して快適に生活をおくり、定着を促すため、生活・就労等に関する情報提供や相談窓口の運営等を実施する。

概要

外国人に生活・就労等に関する情報提供や相談対応を一元的に行う相談窓口を運営する（公財）大阪府国際交流財団に対し、補助を行うとともに情報提供や多言語での情報発信を行う。

（公財）大阪国際交流センターへ交付金を支出し、外国人相談窓口を設置。生活全般についての情報提供・相談対応を多言語で行うとともに、市役所・区役所への相談対応時に電話通訳を実施。窓口にてビザ・法律についての専門相談も行う。

実践的英語体験活動推進事業

目的

大阪が国際競争に勝ち抜くために必要な将来のグローバル人材となりうる層の裾野を拡げる。

概要

府内の高校生、中学3年生を対象に、「グローバル体験プログラム（通称）」を実施し、外国人スタッフとの模擬施設等を活用した実践的な英語体験活動を行うことで、参加者に海外への興味や英語でのコミュニケーションの必要性を気付かせるとともに、自然に英語で交流を図ることができるコミュニケーション感覚・能力を育成する。

外国人留学生就職支援事業

目的

基礎から必要な知識やスキルを学び、企業現場への理解を深め就職に繋げることで、外国人留学生の大阪への定着を図る。

概要

府内大学の外国人留学生を対象に、就職に関するセミナー等を実施し、大阪企業への就職を促進する。